

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

特定非営利活動法人 飛騨市障がいのある人を支える会 会報

ともに暮らしたい

平成27年11月25日発行

研修総会を終えて

九月十二日研修総会を開催しました。井上市長様をはじめ議員の皆様、関係者の皆様、会員の皆様の出席をいただき、開催することができました。今年、会が発足してから七年目となります。その節目に安田先生の講演会も開催することができ感謝しています。この会報でその内容等をお知らせします。

《研修総会で話された「ご家族の声」》

ピースを利用していただいている倉上仁輔の保護者です。仁輔は、ピースが楽しくて楽しくて利用できる日は毎日笑顔で一日も欠かさず通っています。

仁輔は、ここに通うようになってから本当に少しづつですが、成長しているように感じています。

まず、身支度を自分でできるようになったことです。学校の時は、親がせっついてバスの時間に合うようにバタバタと親がかなり手を出して送り出していたのですが、今はどこへ行くにも自分で着ていく服を選び、ハンカチやティッシュをポケットに入れて出かけるようになりました。他の子だったら保育園や小学校ですることかもしれませんが今までのことを考えるとそれだけでもうれしいことです。

さらにビックリすることは、帰ってからティッシュを洗濯機で洗わないうように別に出してくれます。私たちでも忘れてしまいます。仁はピースで洗濯をしているので分かって気をつけてくれているのかも思っています。

家族の声 研修総会で発表

服を選ぶのもそうですが外出時のメニューなども今まで親が選んできましたが自分で選べるようになったことです。いろいろな外出の支援もあるおかげで自分のことを自分で決めることが増えてきているのかもしれない。自分で決めることで私たちの負担も減ったし成長を感じます。野菜作りや給食の時間が週一日あるおかげでもともと食べることが大好きな仁ですが嫌いな緑の食べ物を食べたり作ることにも興味が出てきたみたいでお米をといだり炊飯器にセットするのも手伝ってくれるようになりました。


少しづつですが今までより自分の言葉が増えてきて「ありがとう」という言葉を言われて私はすごく感激しました。いつもは独り言やパソコンやテレビの中の言葉が多いのですが本当に少しづつですが自分の感情や気持ちを表現する言葉が出てきていてとてもうれしいです。いろいろピースで他の人と関わっているかなあと思っています。

仁が高等部に入ってから常に私の頭の中には大きな不安がありました。もちろん学校では、先生方に本当によくしていただいていた仁も喜んで通っていましたが、今はこんなにいい状態なのに卒業したらどうすればいいのだろうか？

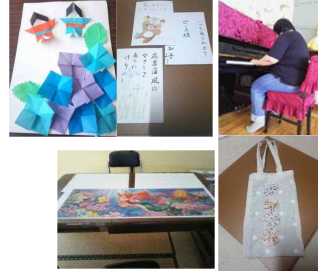
現場実習に行かせていただいたところでもすごくよくしていただきましたが、やはり仁にとっては難しいものでした。卒業後は、近くに作業所がないということでした。家でみるしかないときあらめていた私たちがピースは救ってくれました。私がいつもかかえていた不安が仁にも移っていたのか一時期たくさんあった。バニックも（ピースに通っている）今は、減ることができました。

ピースを支えてくださっている会員の皆様や行政の方、関わってくださっている地域のみなさん、そして、なによりスタッフのみなさんのおかげで仁と私たち家族は笑顔で過ごすことができています。本当にありがとうございます。

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして



封筒づくり
タオルたたみ



ジグソーパズル、手芸、折り紙、絵手紙、ピアノを弾くなどそれぞれ楽しんでいます

① 特別支援学校卒業後、毎日通える場所が欲しい

② 家以外の場所での安心して楽しく過ごしたい

③ 社会人として作業やいろいろな体験をしたい

① 現状…福祉事業所「ピースプロジェクト」児童から成人まで、知的障がい、発達障がい、精神障がい、身体障がい等すべての障がいのある人を受け入れています。

② その場に応じた個別支援、集団支援の実施

③ 利用者の特徴を踏まえ、きめ細かい丁寧な支援や環境づくり

④ 居心地のよい笑顔あふれる楽しい場所づくり

ご利用される方の願い

ピースの思い

① それぞれの願い、ニーズに応えていきたい

② ご利用者やご家族の気持ちに寄り添っていききたい

②活動…こんな活動に取り組んでいます

①室内での活動、個別の取り組みをしています

ピースへ通う効果

- ・パニックが減った
- ・葉の量が減った
- ・毎日、朝、しっかりと起きられるようになった等



展望



④ アルミ缶等の回収：地域とのつながりを求めて



利用者の活動

- ・アルミ缶回収と運搬
- ・アルミ缶つぶし

◎活動を知ってほしい

③ 調理実習：生活力の向上を願って



調理や買い物に出かけ生活力を高めるようにしています。上の写真は、流葉の周辺を散歩しているときヨモギを摘んで、それで団子作りをしました。

② 室外での活動、それぞれ個々に応じた農業体験





① 畑の耕しと畑仕事

② 草刈り後の草集め

③ 一輪車で苗運び

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

(3)課外活動(月一回)・・・楽しい行事も一杯!

①作業を頑張ったご褒美 Day / 外出支援

◇原山スキー場へお出かけ



山登りをしたり、そり遊びをしてご利用者さんに食べたいメニューを選んでもらい外食をしました。

◇世界生活文化センター

◇真光総本山

◇山之村牧場

◇黒内果樹園



◇ブルーベリー狩り、美女高原散策



◇家族お楽しみ会



《ピースでバーベキュー&花火&お泊まり会》

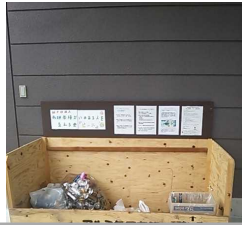
家族同志、親同志の交流も深めた。お楽しみ会や家族お泊まり会など、みんなで話せる機会が、とても好評！



(4)地域とのつながりを求めて

①アルミ缶・エコキャップ回収を通して

障がいのある方が地域に溶け込み安心安全に暮らせるような環境を整える活動に取り組んでいます。



神岡町ふれあいセンターに設置のアルミ缶回収箱

☆啓発活動・・・ピースの活動を知ってもらいたい☆誰でもできるボランティア活動・エコ活動

↓
飛騨市内各所にアルミ缶ボックスを設置していきたい

②月刊 ブレス配り

(株)ブレス様のご理解、ご支援によりピース周辺の住宅へ月1回ブレス配り

・ピースの利用者と地域住民とのふれあい
・ブレス配りと一緒に会報等を配布し啓発活動も
③様々な団体との連携

- ・山田女性会 様
- ・エゴマレディース・水かがみ 様
- ・(株)ありがとうファーム 様
- ・NPO法人 アース・アズ・マザー 様
- ・NPO法人 葉草で飛騨を元気にする会 様
- ・黒内果樹園 様

④福祉と農業の連携：今後の展望

・農作業から製品を生み出す活動への取り組み
農業を障がいのある人の働く場づくり

▽A型作業所や一般就労へつなげたい



◎障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして
一障がい者、高齢者、生活困窮者等が地域の担い手となるようなまちづくり
1子どもから高齢者まですべての人が生まれ育ったまちで共に暮らす「共生社会」の実現をめざします
2障がいのある人が、社会の一員として地域で生活し、地域に貢献できるよう支援します
3障がいのある人が一生涯にわたって途切れない地域生活の支援体制を推進していきます

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

【第2期事業報告】

(平成26年10月1日)
平成27年9月30日)

- 一. 障害者総合福祉法に基づく障害福祉サービスマニヤ事業
日中一時支援事業「ピース」(飛騨市より受託事業) 四月より平日、土曜日開所、利用登録者数20名 多機能型生活介護 就労継続B型事業開始に向け準備
- 二. 障がい等の相談事業
個別相談、家族懇談会
- 三. 地域福祉向上のための啓発事業
会報「ともに暮らしたい」(年4回)4、6、9月発行
ベルマーク運動 (飛騨吉城特別支援学校へ寄付)
研修総会の開催 9月岐阜聖徳学園大学安田和夫教授
各種イベントの参加 岐阜県保育士大会、ボランティアフェスティバル、健康と福祉のつどい、あんきなコンサート等で、展示やバザー販売による啓発活動
アルミ缶回収 神岡ふれあいセンター、ハートピア古川、ピース事業所にアルミ缶回収ボックスの設置
- 四. 障がい者等の就労支援事業
神岡町公衆トイレ等清掃請負事業 飛騨市より受託事業
就労体験の実施 夏休み期間は飛騨吉城特別支援学校高等部生徒を対象に地元のありがとうファーム、黒内果樹園等で就労体験実施
また、年間を通じて薬草採取の受託や地元PR雑誌「ブレス」の宅配

【役員改選を行いました】

理事を2名増員し、新体制で一日も早く福祉サービスマニヤ事業を軌道に乗せ、安定した運営を行えるよう努めてまいります。平成27年12月から二年間よろしくお願ひします。

理事長	奈木 桂子 (留任)
副理事長	大坪 英夫 (留任)
理事	山本 裕司 (新任)
理事	蓑輪 一幸 (新任)
理事	山田 孝洋 (新任)
理事	倉上 恵子 (新任)

【会計報告】

経常収益計	11,252,956円
経常費用計	10,779,367円
当期経常増減額	473,589円
法人市民税	50,000円
前期繰越正味財産額	1,968,020円
次期繰越正味財産額	2,391,609円

収益内訳

会費収入	434,000円
寄付金	568,110円
ボランティア受入評価益	949,200円
補助金	
飛騨市	353,013円
岐阜県	425,000円
民間	250,000円
受託事業	7,584,766円
販売事業	561,445円
その他	127,422円
経常収益計	11,252,956円

経費内訳

日中一時支援事業	6,035,519円
就労支援事業	3,741,202円
啓発事業	93,691円
管理費	908,955円
経常費用計	10,779,367円

【寄付お礼(物品は団体のみ掲載)ありがとうございます!】

飛騨古川盆おどり同好会様 八〇,〇〇〇円
匿名希望様 五,〇〇〇円
神岡中学校様
古川小学校様
えごまマレデイーズ、水かがみ様 アルミ缶、エコキャップ、カレンダー等
古川町11区女性会様 エコキャップ、タオル、ベルマーク
たくさんの方々から、数々の物品をいただきました。
皆様の温かいお気持ちに感謝申し上げます。
☆カレンダーを集めています。ご家庭、会社で不要のカレンダー、日めくりがありましたら、お譲りください。

【健康器具寄付お礼】

9月会報で運動器具の寄付を呼びかけましたところ、たくさん運動器具が寄せられました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。ピースの活動の運動の時間に、楽しく活用させていただきます。

* いただいた健康器具を使って



【あんきなコンサート参加します!】

12月6日(日) 午後一時から、こくふ交流センターさくらホールであるきなコンサートがあります。ピースではバザーの出展や初のステージ発表(ピースの出番は一時三〇分頃)を行います。現在、利用者さん、スタッフで歌や踊りの練習の真っ最中です。ぜひ、当日会場へお越し下さい。